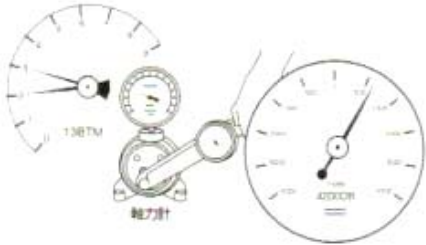




SDCボルトは焼付防止はもちろん、適正な締め力(軸力)を確保します

ステンレスボルトは、その性質上ボルト・ナットの嵌め合いで焼付きが起こり易くなります。SDCボルトは焼付防止の効果を得ると共に、トルク係数値の安定により適正な軸力で締めることができます。

QUESTION! トルク管理だけで、本当に適正な締め力(軸力)が得られているのですか?



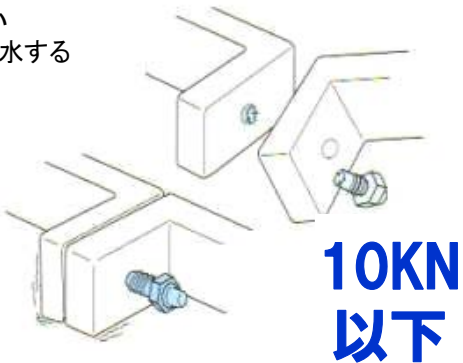
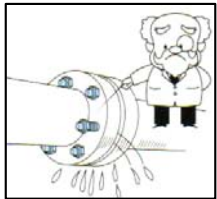
ボルトM16 締めトルク
65N/mで統一

左図のように、同じ締めトルクをかけた場合にボルトにはどれぐらいの締め力(軸力)がかかっているのでしょうか?
下の例を見てみましょう。

軸力が少ない
場合

■締め力(軸力)が10KN以下
潤滑なし
ボルト M16(SUS304)

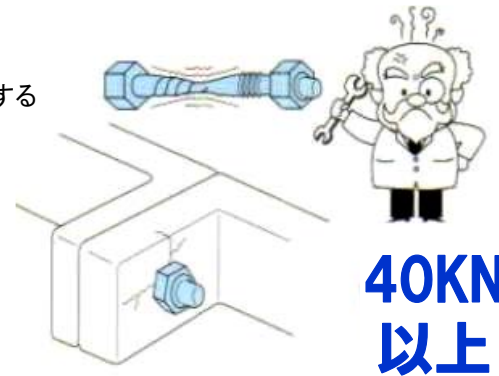
- ・ねじがゆるみやすい
- ・締めつつもでも漏水する



軸力が
掛かりすぎてる
場合

■締め力(軸力)が40KN以上
二硫化モリブデン等潤滑剤使用
ボルト M16(SUS304)

- ・ボルトがのびてもどらなくなる
- ・被締結物が破損する
- ・パッキンがへたる



軸力が適正な
場合

■締め力(軸力)が20~30KN
SDC処理 M16(SUS304)

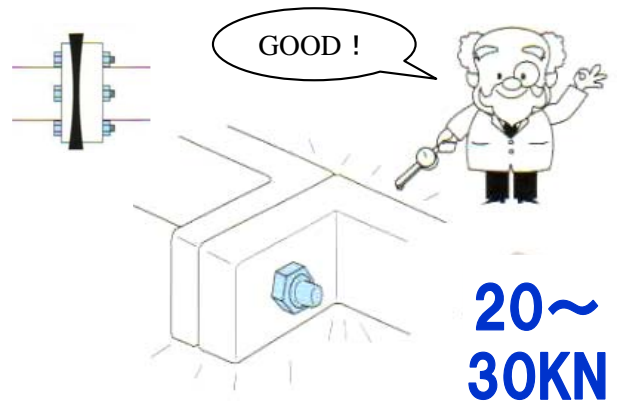
- ・焼付固着防止
- ・適正軸力確保
- ・隙間腐食防止
- ・日水協検査合格品
- ・ISO9001審査登録
- ・水道業界を中心に20年以上を誇る実績



SDCボルト

実用性トルク係数値0.12~0.22

(鋼製ボルトと同様に締め付け可能)



ANSWER.

このように、ねじに使用する潤滑剤の違いにより、同じトルクをかけてもねじにかかる締め力(軸力)が変わってきます。通常トルク管理だけでボルトを締結していますが、締め力(軸力)に上記のような問題がフランジ接合部に発生し、重大な事故に繋がることも考えられます。

トルク管理によって適正な軸力が得られる、「SDCボルト」の使用をお勧めします。

安全はボルトから。

※座金を入れると一層締め力が安定し、初期陥没を防ぎます